

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	担当部署
落書きが後を絶たず、その中でも下品な言葉が多い。防犯カメラが少ない。塔原線の拡幅が進まず、渋滞がひどい。	落書き消去活動実施の際に用いる消耗品の提供などの支援を実施しているので、活用を検討してほしい。また、活動団体や警察の協力を得て、防止啓発ポスターの作成も行っている。掲示協力もお願いしたい。	廃棄物対策課
光明こども園になる。公立に入れなくて民間に入る場合ある。公立の意義も考えて。	現計画では、公立認定こども園を6つは設置する。	こども園推進課
本市では野良猫対策は実施しておらず、府と連携するNPO法人での対策を検討したことがある。せめて市が業者と提携するとかを検討してもらいたい。	動物愛護業務の自治体における権限は、原則として都道府県にある。本市の連絡・調整の窓口を廃棄物対策課として、大阪府に協力していく。	廃棄物対策課
犬猫の去勢手術の補助。	動物愛護業務の自治体における権限は、原則として都道府県にある。本市の連絡・調整の窓口を廃棄物対策課として、大阪府に協力していく。	廃棄物対策課
春木川の清掃5月と10月。行政も協力して欲しい。遊歩道はきれいだが、河川は木が生い茂っている。	例年10月と3月に実施。令和以降、新型コロナウイルス感染症などのため清掃活動を取り止めた時があった。令和7年度は10月は全国豊かな海づくり大会1年前プレイベントのため、清掃は行わずに「春木川ウォーク」を実施する予定であり、関係団体等に周知済。4月は従前どおり清掃活動を行う段取りをしているが、関係団体で構成する幹事会において決定します。なお、清掃活動実施時は、市の関係課が必ず参加している。	環境農林水産部
ゴミ袋の料金が、近隣市より高い。料金決定当時の見積り誤りという噂もあるが…	有料指定ごみ袋制の導入は、ごみの減量化及び受益者負担の公平性を目的としたものであり、それらの効果は確認できている。また、ごみ袋の売上（手数料）に係る歳入によって、すべてのごみ処理経費を賄うことを前提としておらず。足らずは、一般財源（税）で補うこととなる。手数料と税のバランスの違いであり、各市の政策判断の違いである。なお、貝塚市のごみ袋価格の設定は、原価主義（ごみ袋製作費用や保管費用などの合計）であることを確認しており、歳入と歳出が均衡するため、実質全額を税補填しているものと思われる（袋の価格については、貝塚市より高額ではあるが、近隣市（泉大津市や和泉市）を含め、1円/ℓの金額設定は、比較的多くの自治体が採用している）。	廃棄物対策課
一般ごみの袋の色を黄色に。カラス除けの黄色いネットは数年で色が抜ける。	単に黄色にすればカラスが寄り付かないのではなく顔料の影響。特許取っていて値段が高い。黄色の効果なども含め検討する。防鳥ネットについては、交換時期を3年から2年に短縮したので、それ以降であれば再申請可能。また、日が当たらない保管方法等を検討してほしい。	廃棄物対策課
農地の不正利用（廃車場）について。車が山積み、騒音。罰則規定作って欲しい。	車の山積みに関して、自動車リサイクル法に基づき、府が立入指導を、また、騒音（解体作業等）に関して、騒音規制法に基づき、市が立入指導をそれぞれ行っており、今後は府市連携し、引き続き、法令を遵守するよう指導していく。罰則規定に関して、車等の山積みを含むスクラップについて、国の中央環境審議会の中の専門委員会である廃棄物処理制度小委員会において、全国一律の新たな法制度の創設を協議中であるため、市も国の動向を注視していく。	環境保全課
廃棄物処理施設の増加。見苦しい状態。法的規制を。	市では、当該事業所から発生する騒音、振動、粉じん、水質汚濁の苦情が寄せられており、法令に基づく基準を超過しないことなどについて、立入り指導を行っている。また、府が法令に基づいた指導を行っている場合もあり、府と市が同時に立入調査を行ったこともある。	環境保全課
下水道整備の推進。R18には整備と議会答弁。早期に整備を。	「岸和田市公共下水道全体計画」において、「農業集落排水塔原・相川地区は、令和18年度までに南大阪湾岸北部流域関連公共下水道へ編入する予定である。」と明記されている。公共下水道は、下流から順次整備を進めていくものであり、農業集落排水塔原・相川地区の下流側に位置する東葛城地区については、令和18年度までに必然的に着手されることになる。東葛城地区の公共下水道整備年度の特定は現時点では困難だが、早期整備に向けて努めたい。	下水道河川整備課
ゴミステーションに鳥獣対策用のゴミボックスの手立てをして欲しい。高齢者宅の各戸収集を	鳥獣対策として防鳥用ネットを支給しているので、そちらを利用いただきたい。高齢者等の個別収集については、現在制度設計に向けて調整中。	廃棄物対策課
ゴミ出しのルールなど守らない住民が多い。市としても対策に協力して欲しい。立て看板の設置や防犯カメラの設置など。防犯カメラ・電気代など補助金増額希望。	外国人がルールわからないというケースもある。簡易なものではあるが、ごみ出し曜日を守るなどの啓発看板設置など行っている。また、安心なまちづくりに防犯カメラは必要だと思う。外国の方にも、正しいごみの出し方を知っていただくために、令和6年度及び令和7年度に7ヵ国8言語対応の「ごみの出し方」を作成し、ホームページや印刷物で利用できるよう対応している。	廃棄物対策課

クーリングシェルターの計画はないのか。	クーリングシェルターは適用になる条件（数値）が厳しい。クーリングオアシス（暑さをしのげる空間）の方が有効的。郵便局に声をかけている。	環境保全課
野良猫が多い。	猫を増やさない取組として、公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）」に参加し、受け取った「無料不妊手術チケット」を、市内で地域猫活動を行うボランティア団体に配分して利用してもらう事業に取り組んでいる。	廃棄物対策課